

「やまぐち希望大使」紹介

	氏 名	略 歴 等
1	石井 朋成 さん (いしい ともなり)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 56歳、岩国市在住、アルツハイマー型認知症 ・ 消防士として勤務していた52歳の時に診断を受け、最近まで地域の人の誘いでグラウンドゴルフに通っていた。現在は、デイサービスに通いながら、認知症カフェにも参加する等の活動を行っている。 ・ 診断時の思い等を、岩国市広報誌(2022年9月号)で発信した。 ・ 現在は、言葉での発信はできないが、若年性認知症の家族会との繋がりに感謝し、自分達にできることは伝えたいと思っている。(家族より)
2	村上 健治 さん (むらかみ けんじ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 62歳、岩国市在住、アルツハイマー型認知症 ・ 会社員として勤務していた55歳の時に診断を受け、現在は、就労継続支援B型事業所とデイサービスに通いながら、本人ミーティングや当事者の学習会に参加する等の活動を行っている。 ・ 岩国市認知症の人の見守り支援協議会機関誌(2020年6月号)に本人メッセージを発信した。 ・ 自分の経験や認知症のことを多くの人に知ってもらい、居場所等を広げていきたいと思っている。
3	中定 ひとみ さん (なかさだ ひとみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 60歳、周防大島町在住、アルツハイマー型認知症 ・ 看護師として勤務していた58歳の時に診断を受けた後、実家に移住した。現在は、家で料理をしたり、家族と映画を観に行くなど、楽しみながら前向きに生活している。 ・ 診断を受けてからの思いや生活の様子等を悩んでいる人に伝えるとともに、希望大使の活動をきっかけに、認知症の人や多くの方と交流したいと思っている。
4	阿部 俊昭 さん (あべ としあき)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 63歳、山口市在住、若年性認知症 ・ 保育園の園長と牧師として働いていた57歳の時に診断を受け、現在も牧師としての活動を縮小して継続している。 ・ 当事者として発信を続ける丹野智文氏との出会いをきっかけに、講演やケーブルテレビ等で本人発信活動に積極的に取り組み、また、山口市の認知症カフェの立上げにも尽力した。 ・ 自分の経験や思いを多くの人に伝え、認知症の人と気持ちを分かち合い、地元だけでなく全国の方とも交流したいという夢を持っている。
5	右田 京子 さん (みぎた きょうこ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 69歳、宇部市在住、レビー小体型認知症 ・ 若い頃から自営業を営んでいたが、60歳頃より幻視の症状があり、64歳の時に診断を受けた。67歳でグループホームに入居し、現在は、認知症カフェやチームオレンジ交流会で体験談を話す等の活動を行っている。 ・ 診断を受けた時の気持ちや病気を受け入れるまでの体験談を発信し、認知症の理解や当事者の思いを知ってもらうきっかけになればと思っている。